

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I 理念に基づく運営</b>					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input checked="" type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	慣れ親しんだ生活様式を取り入れ、馴染みの人間関係も経験できるような地域交流も理念に掲げている。		
2	2	<input checked="" type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念については、毎朝朝礼で唱和する事により職員一人ひとりが意識を持ち、理念の実現に取り組んでいる。		
3		<input checked="" type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族には入居時に、理念の説明し理解をいただきその後も当ホームの理念に基づいた取り組みの理解を求めることは度々ある。また、地域の方にもGHの役割・方針を理解いただき交流の機会を深めている。		
理念と共有 3項目中 項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input checked="" type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	日頃から地域の方とは気軽に声を掛け合い、収穫した農作物などを頂くことも多く、らくらくのイベント時には声を掛け参加してもらっている。		
	3	<input checked="" type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	GHのある在所の老人会への参加、また入居者自身の在所の老人会への参加、他にも祭りや地藏盆などの行事に参加している。	○	参加できていない地域のサロンや老人会等への参加の機会を増やしていきたい。
6		<input checked="" type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域に出向き、認知症の啓発への取り組み、又は地域の方々とグループを組み、サポーターの育成を行っている。その他、相談にも都度応じている。		
地域とのつきあい 3項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<input checked="" type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	毎年、自己評価を職員全員で取り組み、その度に日頃の取り組みやケアを見直し、その問題を共有する事により質の向上に繋げている。		
8	5	<input checked="" type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、それぞれの立場の方々から積極的な意見が出て問題点に早く気付くことでサービスの向上に活かしている。		
9	6	<input checked="" type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	当GHでは、町との連携は深く、運営推進会議以外にも報告・研究等でサービスの質の向上に繋がっている。		
10		<input checked="" type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	必要な方には関係者と話し合い支援している。		
11		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の研修の機会を設け、何をもって虐待というのか、暴力等だけではなく言語、放任等本人が苦痛であると感じることが虐待であることを研修し意識向上に努めている。		
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 項目					
I-4. 理念を実践するための体制					
12		<input checked="" type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前には十分な説明を行い、理解・納得のうえ契約を結んでいる。		
13		<input checked="" type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進委員会の時や必要に応じ地域包括の職員(運推の委員)が本人の不満等の話を聞いてスタッフに伝えてもらうことがある		
14	7	<input checked="" type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	健康状態、金銭管理等については、毎月、個人別の報告書にて細かに報告している。職員の異動についてはホーム便りで報告している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	<input checked="" type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議では、家族代表者から積極的な意見をいただき、また他のご家族からの意見も出し合える場の提供を家族会として設けている。		意見箱を設置している。家族会については12月に開催の予定。
16		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	目標管理や会議の中で、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け取り入れるようにしている。		
17		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	家人の状況に応じ、必要な時間帯に職員を確保するように努めている。		
18	9	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設以来4年目に入り、職員の異動や離職は少ないと思う。やむを得ない事情に関してはダメージを防ぐ配慮もしているが大きな影響は今のところなし。		
理念を实践するための体制 7項目中 項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input checked="" type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	GH部会への研修や他の認知症ケアの研修を受ける機会を確保し、日常の勤務の中で見直し、考える機会を大切にしている。		
20	11	<input checked="" type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH部会の中で、互いに職員の交換・交流研修の場を設け、1回/月、他のGHとの交流を行うことで互いにプラスにできる面を取り入れ質の向上に取り組んでいる。		
21		<input checked="" type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	現場の声をそのままにしておかず、改善が必要なことは早い対応に努めている。またストレス発散の場として食事会なども(全員参加のもと)計画・実行している。		
22		<input checked="" type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	理事長が週1回訪問し、利用者やスタッフとゆっくり話しをし、スタッフにはらくらくの持つ家庭的な雰囲気の良いさを伝えてもらっていることで、意欲の向上につながっている。		
人材の育成と支援 4項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
II-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		<input checked="" type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	申し込み時や事前調査の段階で、必ず本人ご自身と話しをしてご本人の話しを受容する事によりご本人の思いを理解するよう努めている。		
24		<input checked="" type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	申し込み時や事前調査の段階で、家族の思いを受容し、理解するように努めている。		
25		<input checked="" type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談の内容により、GHの生活がその方にとって必要かどうか、それよりも必要なサービスがあると判断した時は見極めと支援を行っている。		
26	12	<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	突然の入居ではなく、なるべく体験の日などを設けて安心して入居できるような配慮に努めている。		
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 項目					
II-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<input checked="" type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	生活歴や風習からも学ぶ事は多く、食事作りや田畑作業においても学ぶ事は多い。		
28		<input checked="" type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	GHに入居されたことにより、家族との関係が遠くならないよう普段の状況の報告や家族が気軽に泊まったり、また外泊されたり等共に過して頂く時間を大切にしている。		
29		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人がGHで生活していてもいつでも家族と話ができる、いつでも会えるという安心感を持ってもらえるよう支援している。行事にはご家族にも参加を呼びかけている。家族が来所しやすい雰囲気を大切にしている		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れな いよう、支援に努めている	馴染みの人が集まる、出身の老人会やサロン への参加を希望に応じて支援している。本人 の希望を聞き、馴染みの理容店などを続けて 利用している。		
31		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関 わり合い、支え合えるように努めている	座席配置の配慮、活動の中で一緒に行う ことの心がけ、入居者同士の居室に通い 合える雰囲気作りに努めている。		
32		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者 や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	以前入居されておられた方の家族がボラ ンティアに来てくださったり、立ち寄って くださったり等の関係を大切にしている。		
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>Ⅲ-1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	<input checked="" type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の思いを大切に、出来るかぎり自己決定の場面を多くするように努めている。		
34		<input checked="" type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前にも確認しているが、入居後も本人の話の中から、また家族の話からセンター方式の本人の思いをケアプランに取り入れて、本人が望む生活を支援している。		
35		<input checked="" type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている			
一人ひとりの把握 3項目中 項目					
<b>Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	<input checked="" type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人との会話の希望、家族からの希望や意見に関しても、医療職の意見等も取り入れながら職員間での気付きを話し合う場を設けている。(家人からの希望は少ない)		
37	16	<input checked="" type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的に見直しを行い、その都度家族にも内容を説明し、現状に即した計画を作成している。		
38		<input checked="" type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人の健康チェック表に細かく記入し、ケアに活かされている。(同時にケース記録への記入もこまめに行っている)		
介護計画の作成と見直し 3項目中 項目					
<b>Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	<input checked="" type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	隣接しているデイサービスの行事への参加や帰宅願望が強い時など、デイに来られて気分転換を図られることもある。		
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<input checked="" type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	隣接の小学校から手作りのお米や梅干をいただいたお返しとして、入居者の方々と相談して手作り雑巾を縫って渡したりしている。地域住民の助けにより地域の防災訓練に参加している。		
41		<input checked="" type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	医療連携体制を通して、訪問看護STが定期的に訪問し、状態観察・医療的指導をもらうことで安定した生活が送れている。		
42		<input checked="" type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	必要に応じて権利擁護等の相談を行っている。		
43	18	<input checked="" type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の継続は推進しており、医療連携体制の訪看よりかかりつけ医との連携を取り、関係作りに努めている。		
44		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	母体病院に認知症疾患センターがあることから、進行がみられる場合や一度も専門医の受診をされてないケースは紹介等もさせて頂いている。		
45		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	当ホームでは、医療連携体制を取っていることから、定期的に訪看の訪問、緊急時の24h～365日の相談・対応、ターミナル時の対応を行っている。		
46		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	HPのカンファにも参加し、早期退院に向けて受け入れ体制をつくり、必要な注意事項等も踏まえて可能な限り受け入れ体制を整えるよう努めている。		
47	19	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ターミナルに向けては、普段からの家族の意見も伺っておき、GHとして取り組めること、できないことを明確にし、方針を伝えている。らくらくではの経験有り。地域のDrとも訪看を通して連携をとっている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input checked="" type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	現段階で3例のターミナルに取り組み、医療職との連携をとっていることで、安心してチームとして取り組むことができている。「できること、できないことは」は明確にしている。		
49		<input checked="" type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	GHでの生活・本人の思い等の情報提供を十分に行い、住み替えによるダメージを防ぐよう努めている。入院時なども可能であれば面会の機会も大切にしている		
地域資源との協働 10項目中 項目					




自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input checked="" type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	ご本人が望まれる呼び方に配慮し、記録等の保管は事務所奥にて保管し、個人情報の取り扱い方には配慮しているが必要に応じて事例を出す時は了解を得ている。		
51		<input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	外食先でのメニューの選択や、季節感・行事を楽しむ食事を心がけ、押し付けにならないように努めている		
52	21	<input checked="" type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	外出や散歩、また帰宅願望が強い時等は本人の思いを大切に、ゆっくり付き添い、会話をしたりして過す事を大切にしている。		
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 項目					
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input checked="" type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	今までの生活の中での行きつけの美容室などがあればその店を利用したり訪問利用したりしてもらっている。		
54	22	<input checked="" type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節や行事や本人の誕生日など、メニューと一緒に考えて買い物に行ったり、外食を計画したり、畑の作物を利用して調理し食事を楽しんでいる。食欲がない時などは別メニューの配慮も行っている。朝食時にはパンとご飯の選択もある。		
55		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お正月には日本酒・季節によっては手作り梅酒などアルコールも希望に合わせて楽しみ、おやつも個人的なものがあれば、本人の希望時等に渡すようにしている。	○	おやつの中の飲み物の自己選択ができていない時があるため、できる限り自己選択の機会を設ける
56		<input checked="" type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェックの活用で時間や量から本人のパターンを把握して、オムツ外しの取り組み、またオムツの使用に関しても本人に合ったものを十分に検討している	○	失禁者が増加し、個別にトイレ誘導や声掛けを行うための取り組みを強化したい
57	23	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の準備は毎日行い、本人の希望を聞き、個別入浴で職員と会話を楽しみながらゆっくり歌を歌いながら入ったりされている。入浴されない日は清拭や着替えを支援している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	ベッドか畳みの上に布団等の希望を聞き、安心して居る居室作りを行い安眠できるよう努めている。昼寝時間も確保している。ターミナル時にはエアーマットのレンタルも家人に依頼して取り入れている。		
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 項目					
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	<input checked="" type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	買い物・外出・読経・畑仕事・お地藏さん参りなどそれぞれの役割や楽しみごとを支援している。ご本人が本当にやりたいと思っておられることを普段の会話の中から、表情から取り組んでいる。		
60		<input checked="" type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	可能な方には、ご家族とも相談のうえ自分で財布を所持され、買い物時などの支払い等もされている。		
61	25	<input checked="" type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物や外出・散歩等、できるだけ同じ方ばかりにならないように配慮しながら外出支援を行っている。		自分でコースを決めて毎日散歩を日課にされている方もおられる(らくらく敷地内)
62		<input checked="" type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	お弁当もって出かけたり、家族と一緒にの食事や老人会での食事、いちご狩り等はとても楽しみを継続している。本人の行きたい場所を日常会話から聞きとめておき、その希望を叶えられるように努めている。		
63		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望に合わせて、電話をかけて話されたり、年賀状等希望にあわせて支援している。		
64		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	気軽に訪問いただいたりご家族が宿泊されることについては、拒まず面会等も気軽に立ち寄れる雰囲気大切に、希望なら本人居室内でゆっくりとさせていただく配慮を行っている。		
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 項目					
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援					
65		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体的だけではなく精神的にも抑制・拘束しないケアに努めている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	26	<input checked="" type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施錠は行わず(21時以降は施錠)玄関には外出を知らせるセンサーのみ設置。センサーが鳴ったら一緒に外出するよう心がける。		
67		<input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	居室(現在1名)にベッドからの乗降を知らせるセンサーを設置。転倒リスクの高い方がのを察知するためセンサーを設置している。		
68		<input checked="" type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	職員の目が行き届きにくい時間(夜勤)には、危険物・誤飲の危険がある物が目にふれないようにしている(刃物や洗剤等)		
69		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ベッド脇に手すりを設置をしたり、老人車にペットボトルに水を入れたものを重り代わりに使う等・必要時には夜間のみトイレの導入も検討し取り入れている		
70		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救命救急講習やAEDの操作に関する講習会に参加。		
71	27	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	町内の防災訓練にGHとして参加し、夜間、職員が一人体制時に災害が起こったことを想定し、地域の方にお年寄りをバトンタッチしての避難訓練を行う。その折に認知症のことを地域の方にも理解いただく啓発にも努めている。		今年度は(9月13日)に、防災訓練参加。
72		<input checked="" type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	リスクに関しては、家族に十分に説明を行い、家族の意見も取り入れながら本人にとって抑圧感のない暮らしを大切にしている(自立歩行可能な方への転倒リスクについて説明)		
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 項目					
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		<input checked="" type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	チェック表(健康状態)を見れば体調の変化、又は訪看からの指示等が分かるようになっている為、速やかに情報を共有し実際のケアに結びついている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74		<input checked="" type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	カルテに薬の説明書を添付し、変更ある場合はチェック表に記入しどの職員もがセットにあたっている。		訪看による指導を受け、便秘の方には、毎日の便秘体操・腹部マッサージを行っている。
75		<input checked="" type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分補給をこまめに摂り、乳酸菌なども出来るだけ摂り野菜を多く使った食事を心がけている。それでもコントロール必要な方には下剤等の服用も状態に合わせてあり。		
76		<input checked="" type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	基本的に3食後、口腔ケアを行う習慣づけをしており、チェックも入れ、入れ歯の洗浄も定期的に行っている。	○	自立されている方に関しては、口腔ケアの声掛けはしていても、確実に現場を確認できていないのが現状。確認方法検討中
77	28	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人の疾患や嗜好も考え、量や硬さ等の調節も行い、メニューに偏りがないよう気をつけている。こまめな水分補給にも努めている。水分の種類もお茶だけではなく、ポカリのような吸収しやすいもの等も用意している。	○	10時のおやつには、個人の嗜好を聞いて水分補給をおこなっている。
78		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	今年度は特に新型インフルエンザの予防努めている(感染予防・拡大の防止について来所者にも協力を求め)職員自身が持ち込まないよう努めている。		
79		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	手洗いの徹底、エコラールにて食事前の消毒。まな板・ふきん等の除菌は毎日行う。		
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 項目					
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり					
80		<input checked="" type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	隣の小学校とは、出入りが自由にでき、小学生との交流は気楽に行える。近所の方が採れた野菜を下さったり、またGHからお返しをしたりしている。		
81	29	<input checked="" type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	花や人形を置き、手作りののれんや古着物を座布団カバーにリメイクしたりして、意見箱も手作りで設置しており、明るい雰囲気になるよう工夫している。垣根も圧迫感がないように切り揃えている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		<input checked="" type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	畳の間の仏壇に1日3回お年寄り同士が声を掛け合い集まって読経をあげられたり、ソファーに座りながら談笑されたり、ベランダに出て隣の小学校のグラウンドの体育を見物されたりして過されている。		玄関のベンチ等に腰掛けられ、隣のデイの利用者の方々と自由に話したり、くつろいだりされている
83	30	<input checked="" type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族には出来る限り本人の住み慣れた(馴染みのもの)環境を再現して安心して過せる居室づくりに協力いただいております、お仏壇や桐のタンスなどお持ちの方もおられる		居室の個人のお仏壇にも読経をあげられ、季節のお花や果物を飾られる支援をしている。
84		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	こまめに窓を開け、換気には気をつけ、温度調整もこまめに行い、過しやすい環境づくりに努めている。(利用者には暑さ寒さの確認を行いながら)便臭きつい時は消臭剤を使用。		夏季には、各居室の南窓にすだれを設置して、強い日差しを遮り、エコにもなっている
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 項目					
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下には本来の手すりではなく、手すり風の支えがあり、それを頼りに歩行されたりトイレや和室の上がり口、浴室内の手すりなど安全に配慮している。		
86		<input checked="" type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	作業等はcwがさりげなくフォローしながら、個人に合わせた作業を個別に支援し、やりがいに繋がるよう努めている。		
87		<input checked="" type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	天気の良い日は外でお茶会をしたり、小学生の体育の授業や野球観戦など、また畑は得意な方が中心となり、季節ごとのたくさんの野菜を収穫している、外でバーベキュー大会もおこなっている		
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 項目					

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない  認知症の進行に伴い、本人との意思疎通が困難なケースもあるが、その場合には表情から読み取るようにしている
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない  職員自身がゆったりと過ことを心がけることにより、お年寄りも落ち着いてのんびり過してくださっているが、パタパタとした動きをしないよう心がけている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない  9人が同じペースではなく、一人ひとりのペースを大切に、その人に合ったリズムを大切に支援している。(寝たきりの方の全介助・一部介助それぞれの本人のリズムを大切にしている。)
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない  普段のかかわりで、本人の喜怒哀楽を表出できるように努めている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない  「行きたいところ」を教えて下さる方には支援できているが、認知症の進行により、希望が伝わらない場合には、表情見ながら支援している。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない  医療連携体制を取っていることで、早期発見・早期治療につながり、ターミナルにおいても、不安なく穏やかな表情で過ごされている
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない  本人の話しを受容し、不安要素を取り除く事で安心した暮らしの提供に努めている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない  家族とは十分にコミュニケーションが取れていると思うが、どちらかというとGH側に任せるといった意見が多いかもしれない。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない  閉鎖的にならないようにをモットーに、今までの馴染みの関係を大切に継続できるよう支援している。
	項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)

		↓○印欄	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない	運営推進会議を通して地元の関係者とのつながりが深まったことで、GHへの理解はもとより、委員の方々が橋渡しの役目をしてくださることで、地域との交流が深まった。
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない	細かなストレスはあると思うが、一人ひとりの表情は明るくその明るい雰囲気はらくらくのカラーにもなっていると思う。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	いろんな人間関係はあるものの、喜怒哀楽がはっきりしていてその人らしさが表出できており、満足されているように思う。ターミナルの状況時には、「自分もこうして、ここで死にたい」という声がある。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない	要望的なことはあるかもしれないが、納得できないというような思いはないように思い、喜んで下さっていると思うことのほうが多い。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

当ホームでは、「本人」「家族」「職員」の「笑顔」を大テーマに1日1日取り組んでいます。入居者一人ひとりの喜怒哀楽の表出を大切にしている。当ホームは6年半が過ぎ、認知症の進行により意思疎通が困難な方には、その時々表情から思いを感じ取り、またご家族の思いも大切に「その人らしさ」を大切にしています。医療との連携体制が定着し、終末期ケアにおいても自信を持って取り組んでいます。グループホームでの生活を良く理解して下っている訪問看護師との連携を深めることにより、ご家族の希望をもとに、最期までその人らしさを守ることを大切に、当ホームでできる精いっぱいケアに努め、穏やかな毎日を過ごしてもらえるように支援しています。地域とのつながりが深く、地域の方々よりたくさん野菜等を譲っていただき、当ホームでお茶を飲んでいただいたり、バーベキュー等のイベント時には招待させていただき、そんなご近所つきあいを喜んでいきます。また地域(尼子地区)の防災訓練にも参加させていただき、入居者のみなさんを住民の方にバトンタッチして近くの小学校まで避難させてもらうという訓練では「地域に守られている」と実感することが多い事に感謝しています。当ホームの原点である「自分が年をとったら・・・自分の親を・・・こんなグループホームなら入れてもらいたい」と、スタッフ自身が思えるホームにしたいという初心の気持ちを忘れずに日々のケアを大切にしています。

## 評価結果整理表

個 別 表	□のチェック項目数
<b>I 理念に基づく運営</b>	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 理念と共有	3 項目/3項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 地域との支え合い	3 項目/3項目
－3. <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	5 項目/5項目
－4. <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	7 項目/7項目
－5. <input checked="" type="checkbox"/> 人材の育成と支援	4 項目/4項目
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4 項目/4項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6 項目/6項目
<b>III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	3 項目/3項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3 項目/3項目
－3. <input checked="" type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	1 項目/1項目
－4. <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10 項目/10項目
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>	
<b>IV－1. その人らしい暮らしの支援</b>	
－1. (1) <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	3 項目/3項目
－1. (2) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	6 項目/6項目
－1. (3) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	6 項目/6項目
－1. (4) <input checked="" type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	8 項目/8項目
－1. (5) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	7 項目/7項目
<b>IV－2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>	
－2. (1) <input checked="" type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	5 項目/5項目
－2. (2) <input checked="" type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり	3 項目/3項目



## 総合評価

### I 理念に基づく運営 ( 5 項目/5項目)について

地域密着型のサービスとして、地域の中でその人らしく暮らし続けることを職員が共通理解して実践に向けて取り組んでいる。去年から運営推進委員会を設置し、閉鎖的にならないよう普段のGHの様子、問題点、また取り組んでいる内容等をオープンにして理解していただいている。②サロン等への機会が以前に比べて少なくなってきた為、再度参加が定着できるように努めたい。

### II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 ( 2 項目/2項目)について

初期に本人や家族との信頼関係を築けるよう努め、少しでも不安感を少なくする為に体験利用等にも配慮している。  
生活の中では、本人から学ぶ事も多く、本人にやりがいや達成感をもってもらえる機会を大切にしている。また今までの生活のなじみの関係の継続にも努めている。

### III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント ( 4 項目/4項目)について

本人や家族の思いをケアプランに取り入れている。変化が生じた場合には、その都度見直しを行い、家族にも説明を行っている。ターミナルケアにおいても前向きに取り組んでおり、終末期を迎えられた方の枕元で、その方が好きだった歌を他の入居者の方々と一緒に唄ったり、GHらしくならでの終末期を、少しでも心穏やかに過ごしていただくよう努めています。おやつ時の飲み物等の選択の機会が少なくなりつつある為、できる限り自己選択・決定の機会をふやしていきたい。

### IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 ( 7 項目/7項目)について

本人の役割や楽しみごとはそれぞれに違うことを大切に、個別性を重視して支援している。Cwの一方的な援助にならぬよう本人が出来ることは時間がかかっても見守り、さりげないフォローで自信に繋がるように支援している。また本人の居室は、家族の協力を得て出来るだけ以前の部屋の再現に努め、居室が安心できる空間になるよう努めている。76口腔ケアにかんしては、毎食後スタッフ付き添いのもと口腔清掃を行っていることで、口腔清掃への意識が定着し、誤嚥性肺炎の予防にもなっている。

### V サービスの成果に関する項目について

現在のチームにおなり、約1年3ヶ月が経過し、退職希望もないことはありがたいが、慣れが生じないように注意し、スタッフ一人ひとりの気づきがよりケアの反映されるよう尚一層の努めたい。

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

評価年月日：2009年 9月 23日

前回評価年月日：2008年 10月 10日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月～ ○年○月まで)	改善に向けた具体的な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
評価項目 番号	優先 順位	内 容				
⑤	③	参加ができていない字のサロンや老人会への参加の機会を見直し増やしたい	2009・11～ 2010・9	担当者が中心になり、サロンの日程を確認し当日のスタッフの調整を責任持つて行う		2010・ 9月
⑤⑤	①	おやつ時などの飲み物など自己選択ができていない事があるので、自己選択・自己決定の機会を増やす	2009・10～	スタッフ全員が共通理解して取り組む		2009・ 12月
⑤⑥	②	失禁者の増加により、個人々の排泄リズムをつかむ取組みを強化したい	2009・10～ 2010・9	排泄への声掛け時間を設定して、必要時には誘導を徹底し、個人の排泄リズムをつかむことにより失禁の回数を減らす。		2010・ 9月